

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 12-002

PDCA	事務事業名	観光サイン設置事業	部課等名	市民経済部 観光課 観光担当	担当 内線等	中村 324	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 1. 観光 単位施策： (1) 観光資源の活用 個別施策： ③回遊性のあるまちづくり					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	半田市の主要観光エリアやスポットに、観光客の移動の利便性、回遊性の向上及び魅力の発信を目的として、観光客向けの観光エリア案内板や解説板を設置する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	岩滑地区内に歩行者誘導サイン4基を更新する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①観光サイン設置数	—	1	—	基	
		②観光サイン更新数	4	—	4	基	
		事業費	269	2,023	92	千円	
		人件費	317	621	617	千円	
		総事業費	586	2,644	709	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①観光サイン1基あたりの事業コスト	147	2,644	177	千円		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①観光サイン更新数	実績値	4	1	4	基
			目標値	4	1	4	
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		「ごんの秋まつり」等で多数の観光客が訪れる岩滑エリアの歩行者誘導系補完サイン（4基）の木製支柱が腐食損傷したため、金属製案内板に付け替えることで、観光客が岩滑エリアを回遊する際の利便性を向上することができた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 岩滑エリアに腐食損傷してしまっている木製案内板が残り10基あるため、令和3年度に4基、令和4年度に6基を金属製案内板に付け替えることで観光客の利便性向上を図る。 今後、JR半田駅前土地区画整理事業の進捗に応じて、必要なサインの整備を図っていく。				
		令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位
			①観光サイン更新			4	基